

令和7年度年度 第1回倫理委員会（通算4回） 会議議事録

開催日時：2025年6月11日（水）18:00～19:20

場所：WEB開催

参加者：鈴木郁子（司会）、渡辺美緒、宮坂道夫、田中美央、倉田慶子（書記）

報告事項・審議事項

1. 第50回日本重症心身障害学会学術集会における倫理シンポジウムについて

- 1) 鈴木郁子先生から、生命倫理委員会との共同企画によるシンポジウムの開催の経緯について報告があった。生命倫理委員会の委員長の根津先生と鈴木郁子先生で、シンポジウムの登壇者の調整をした。生命倫理委員会側の演題として、「重症心身障害医療において大切にしたいこと」として、緩和ケア・生命倫理の視点から成育医療センターの余谷先生にシンポジストをお願いすることになった。
- 2) 倫理委員会側のシンポジストとして、宮坂先生と田中美央先生にご登壇して頂くことになっている。講演内容は、研究倫理の視点でお話しして頂こうと考えている。具体的には、どのような内容が「倫理委員会」として、お話しして頂くのが良いのかを検討した。
- 3) 小児神経学会や小児科学会では、研究論文の投稿規定の中に倫理的配慮についてホームページに掲載されている。本学会でもきちんと倫理的配慮について、周知していかなければならない。しかし、以前に当委員会で提案した抄録のチェックリストは採用に至らなかった経緯もあるため、再度、研究倫理が重要であることを多職種が理解できるようにお話しして頂くことが必要ではないか、という意見があった。2022年の看護研究応援セミナーで宮坂先生がご講演された資料を共有した。（資料1・2）現時点では、資料3の抄録を演題登録しているが、2022年の看護研究応援セミナーの後半の具体的な研究参加への同意の取り方や中止をどのように判断するのかなどの内容を参加者は興味があるのではないかと意見でまとまった。
- 4) 田中美央先生が10分以内で研究倫理にまつわる現状の困りごとについてプレゼンして頂き、宮坂先生に重症児者を対象とした研究にはどのような倫理的配慮が必要であるのかを35分程度講演して頂くことになった。
- 5) シンポジウムは2025年11月21日（金）14時～15時50分のプログラムであることが確認された。（研究倫理については14時50分～15時35分頃の予定）

2. 理事会への提言について

鈴木郁子先生から、本学会の理事会に「命の提言」について本学会が示す必要性について、意見があった。一般小児科あるいは救急医療の現場などにおいて、重症心身障害児者の尊厳、治療を受ける権利、生きる権利などへの配慮がなされていない現状があるのではないかと、という意見があった。このため、本学会として、重症心身障害児者の「命の提言」をわかりやすく作成することを、理事会に提案することになった。

3. 今後の活動について

当委員会で作成した抄録チェックリストの活用方法について、検討した。学会誌の投稿時に活用して

みてはどうかとの意見が出された。編集委員会委員長の中川先生に鈴木先生から打診して頂くことになった。

【資料】

資料1 2022年宮坂先生重心学会看護研究応援セミナー資料

資料2 2022年看護研究応援セミナーQ&A

資料3 2025年度日本重症心身障害学会抄録

次回の委員会予定

日程：第50回重心学会（11月21日）の前に日程調整し、開催する

議事：1）理事会報告

2）シンポジウム内容について宮坂先生と田中美央先生からご報告頂くことになった

方法・場所：Zoom

以上